

南あわじ市社協だより

わかば



第78号

2025年1月発行



Contents

- 「つながりワーカー」って? 2・3
- お知らせコーナー 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪 6
- 社協活動紹介・福祉クイズ 7
- 善意銀行だより 8



この広報誌は一部赤い羽根共同募金の財源を活用しています。

地域で支え・見守る 「つながりワーカー」！

見守りって？

みなさまは「見守り」と聞いて、どのようなイメージを持つでしょうか？

「見守り」という言葉を辞書で引くと「気をつけて見ること。特に子どもや高齢者に対し、安全な状態にあるかどうかについて注意をはらうこと」という意味が記載されています。民生委員や自治組織による活動も「見守り」ですし、近所の人に挨拶をすることも「見守り」になります。この言葉一つとっても、方法・やり方は様々です。

「見守り」は「見張り」や「監視」とは違います。地域の方とお話をしていると、「気になっている人はおるねんけど、なかなか声かけづらいねん…」「どこまでふみこんで話聞いていいのか分からへん」という声をよく聞きます。相手のプライバシーに配慮し、さりげなく…というところがポイントです。

実際に見守り活動を行っていくうえで、行政や専門職だけでは、不十分な場合も多くあります。「地域でちょっと気になる人」に気づき、「さりげなく」支えていくためには、地域やご近所の見守り・支え合いが大切です。

南あわじ市社協では、地域で見守り活動を行っていくきっかけづくりとして、「つながりワーカー養成講座」を実施しています。今後、各地区でも実施予定です。詳細は、右ページをご確認下さい。

「つながりワーカー」って何??

地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、見守る人たちのことです。

私も「つながりワーカー」になれる?

「つながりワーカー養成講座」を受けていただければ、どなたでもなることができます。年齢や性別、役職などは特に問いません。

「つながりワーカー養成講座」って、どんなことをするの?

「つながりワーカー養成講座」では、約1時間半の講座を通して、「地域での見守り」について学びます。話を聞くだけの講座ではなく、グループワークなどを通し、受講者の間で話し合いながら、講座は進みます。高齢者や子ども・子育て世代の課題など、地域で暮らしている方の事例も交え、より身近に感じてもらえるような内容となっております。また、講座修了後には、受講者全員に修了証をお渡ししています。

「つながりワーカー」になると、どうなるの?

つながりワーカーになったからと言って、何かをしなければいけない訳ではありません。講座受講を通して、地域での見守りに関心を持っていただければ幸いです。

今回の講座は、中央共同募金会の「つながりワーカー養成および実践活動助成」を受けて活動しています。地域の皆さまの赤い羽根共同募金活動へのご理解・ご協力、お礼申し上げます。

地域にて

福良地区

「これから福良にとってつながりワーカーは大切」と公民館から依頼があり、何回も打ち合わせや話し合いを重ね、10月25日につながりワーカー養成講座を実施しました。

民生委員、ボランティア、事業所など25名の方にご参加いただきました。参加者からは、「地域のなかで気に掛け合うことが大事だとわかった」「見守りと聞くと訪問することが浮かんでしまいハードルが高いと思っていたけど、講座を受けてすごく身近で気軽に取り組めることがわかった。ご近所づきあいの延長やね」などお声をいただきました。

アンケートには、地域の見守り活動について話し合いたいとの声が多く、今後も継続した活動を行っていきます。



伊加利地区

伊加利地域づくり協議会では、ご近所推進（見守り）委員会を組織し、地域での見守り活動に取り組んでいます。黄色い旗運動や研修会の実施、見守り安心カードの全世帯配布など活動は多岐にわたります。今回は、日頃の地域での活動の振り返りと見守り活動の学び直しを兼ねて、年に1回行っている研修会で「つながりワーカー養成講座」を実施しました。

当日は、地区役員や民生委員、老人会など約20名の方にご参加いただき、地区ごとに分かれてグループワークを実施しました。参加者からは、「地域での見守りについて、重要性を再確認できる機会になった」など貴重な意見をいただきました。



今後の予定

南あわじ市社協では、下記の日程で「つながりワーカー養成講座」を開催いたします。

見守り活動に少しでも興味のある方、孤立、孤独を感じている人への寄り添い方を知りたい方など、事前申し込みのうえ、お気軽にご参加ください。

みどり地区

日時▶2月21日(金)
13:30~15:30
場所▶広田地区公民館

せいだん地区

日時▶3月6日(木)
13:30~15:30
場所▶湊地区公民館

みはら地区

日時▶3月14日(金)
13:30~15:30
場所▶市地区公民館

なんだん地区

日時▶2月25日(火)
13:30~15:30
場所▶賀集地区公民館

申込先：南あわじ市社会福祉協議会 (TEL: 0799-44-3007)

あなたのおすすめの本は? ●『和食の本』いつも見ています。特にさつま揚げごはん好きです。(70歳・男性)
抜粋して一部紹介します。



「社協会費」にご協力いただきありがとうございました

今年も、住民の方をはじめ事業所の方々には「社協会員」にご加入いただき、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた会費は、南あわじ市の地域福祉充実のため法人運営費として大切に活用させていただきます。

特別会費・賛助会費・ご芳名一覧

	件 数	金 額
一般会費	11,962 件	5,833,900 円
特別会費	93 件	220,500 円
賛助会費	4 件	18,000 円
合 計	12,059 件	6,072,400 円

(令和6年12月31日現在)

トヨタカローラ兵庫株淡路店、(株)鯉森電工、(株)鯉森建築設計事務所、アスク三共美芸(有)、藤井商事株
かわだ歯科、(有)細川ふとん店、京里亭、(株)きんでん淡路営業所、A&K 骨格調整所、楠本商店
トヨタ L&F 兵庫株淡路営業所、(株)井添工務店、辻設備工業、淡路清掃株、M、(有)長田モーター商会
株山田建機、(株)立花組、鮎夢、(有)松葉寿司広田店、不動石材、上原正弘司法書士事務所、(株)大幸
(有)全淡リサイクルセンター、ケアサービスアサヒ、山岡水道工業(株)、(有)広田薬局、橋本珠算塾
(有)山田建工、徳梅電気商会(株)、萩原商店、北西金物店、衣笠商事(株)、淡路測量設計(株)、(株)金山工務店
(株) A・I・T 淡路、伊達精肉店、緑郵便局、(株)玉岡屋、淡路信用金庫広田支店、(有)辻商事
ぶつだんのもり(株)淡路店、ミッキーマウス(喫茶)、善太、翠鳳第一病院、惣菜家しんざん
カットサロンベルタ、ハーフタイム、(株)JRC本社工場、(有)武井製作所、(有)三光電機、新洗蔵みどり店
中田モータース、入谷緑化土木(株)、サンライズ(株)、(株)岡田鉄工所、ぬか酵素 Sun 燐、(株)斎藤工務店
淡路ヤカルト販売(株)、井本産業(株)、丸正工業(株)、光洋建設(株)、(株)武田工務店、高見商運(株)、炬口鉄工(株)
株赤松工作所、(株)鳴門千鳥本舗、(有)柿原鉄工所、サンライズ淡路、ボギゴルフ練習場、秀モータース
倭文郵便局、アーバンクリエイト(株)、(株)土井スレート商店、(有)イチエンジニアリング、ふくカフェ
近江建設、大谷瓦工事店、(株)辻脇住設、清水庵、向建設(株)、柴田診療所、たなか医院、福田耳鼻咽喉科
ふくはら歯科医院、(株)ベンチャーボーイ、つどい処・砦、カフェ・レストラン・フレール、山陽薬品(株)
淡路営業所、穀内クリニックみどり診療所、清川工務店、淡路島ばあむ工房 maaru factory

郵便振替口座 00920-5-311050

社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

今後、ますますの活動の充実を図るための財源として、
あたたかいご理解と引き続きの皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

旧法務局跡地 施設名称募集!

締切: 2月28日(金)必着

年代を問わず、みなさまに親しまれる施設になるような名称を募集しています。



【施設概要】所在地: 南あわじ市市市 227-1
障害福祉サービスの生活介護事業と地域交流拠点
施設として整備し、令和7年9月に開所を予定。

【応募要件】●一人1作品とし、自作の未発表作品で、他の商標を模倣していないもの
●10文字以内 ●多世代交流をイメージできるもの

あなたのおすすめの本は? ●『絵本100かいだてシリーズ』全部持っています。何回も読んでもらってます。
(小学生・男児)

受賞おめでとうございます



長年にわたりボランティア活動を積極的に取り組み
続けた功績を称えられ、「淡路島・慶野松原根上がり隊」
のみなさまが、兵庫県民ボランタリー活動賞を受賞さ
れました。

12月18日に兵庫県公館で行われた表彰式では、代表
のゼルニク早織さんが出席され、兵庫県知事から賞状
を受け取りました。

受賞、誠におめでとうございます。

活動紹介

『淡路島・慶野松原根上がり隊』は、「慶野松原」の美観と植物保全、
観光復興のために地元有志によって結成11年を迎えたグループです。海岸と松林、海浜植物といった自然環境を保全する活動と、地元の子どもたちを中心に故郷の良さを発見してもらう魅力発信活動に分け、様々な活動を展開しています。「歴史ある松林と砂浜を次世代につなぎ、魅力ある場所として語り継いでいきたい」と活動に取り組まれているみなさんの姿はとても素敵です。

これからもますますのご活躍を期待しています。



三原志知『ふれあい広場』

三原志知地区公民館では、地区民生委員
児童委員の方々にご協力いただき、地域交
流や健康づくりをテーマに月1回ふれあい広
場を開催しています。

体操をしたり、昔懐かしい写真を見たり、
焼き芋を焼いたり…やりたいことを相談しな
がら行っています。

地区外の方・老若男女どなたでも大歓迎!
ゆるゆるっと開催しているので気軽に遊びに
いらしてください。



今後の予定

令和7年
1月30日(木)
2月27日(木)
3月27日(木)
☆参加費100円
お菓子と
飲み物付き

寄贈ありがとうございます

ご寄附いただきました機器については、社
協が行う福祉学習やその他事業に大切に活用
させていただきます。

車いす 四国銀行様 2台

(有)杉本商店様 1台

歩行補助器 匿名 1台

発電機・蓄電池 緑ボランティア連絡協議会様

社協行事予定

地域福祉フォーラム(みはら福祉のつどい)
を開催します!

日時: 令和7年2月23日(日)

場所: 榎列地区公民館 大広間

※時間などの詳細はHP、SNSで発信していきます。

ご近所の皆様と一緒にぜひご参加ください。

地域の活動

「福祉まつり」を開催しました！

『福祉まつり』は、地域の交流やふれあいなどを通じて福祉活動への关心や理解を深めてもらおうと、社協支部運営委員や地域で活躍されているリーダーのみなさんが中心の実行委員会が主催となり、様々なプログラムを企画・運営しています。

今年も福祉事業所による販売コーナーや、各種団体による啓発活動、小中学生による舞台発表など、地域の方々のご協力のもと開催することができました。

たくさんの方にご来場いただき、子どもから高齢者まで多世代に渡る地域住民が集い、交流する貴重な機会となりました。来場した方に話を聞くと、「ここに来ると様々な人とつながれる」「懐かしい人に再会した」「毎年家族で楽しみにしている」と開催する側も参加する側も一緒に楽しめたおまつりでした。

このような地域の催しに積極的に参加する事で、住民同士のつながりの大切さを再確認でき、日頃から気にかける地域づくりにつながります。



福祉クイズ

Q 地域で孤立している人や孤独な人に気づき、つながり、見守る人は？

「〇〇〇〇」ワーカー
(ヒント) 特集コーナーをご覧ください。

■応募方法

はがきかメールに ①クイズの答え
②あなたのgenceを教えてください
③郵便番号 ④住所 ⑤名前
⑥電話番号 ⑦年齢をご記入の上、
ご応募ください。

■締め切り 2月28日(金) 必着

■応募先

〒656-0122
南あわじ市広田広田 1064 番地
南あわじ市社会福祉協議会
メール
info@minamiawaji-shakyo.or.jp

- ◆応募者の中から10名の方に図書カードをプレゼント！
- ◆当選者の発表は、商品の発送をもつて代えさせていただきます。

前回(第77号)の福祉クイズの答えは
「あつまらん(か)」でした。

総合防災訓練に参加しました

11月17日(日)、南あわじ市総合防災訓練が倭文小学校で実施され、災害ボランティアセンターの役割や活動についてパネル展示を行いました。また、「くらす連絡会」や「ほっとかへんネット」のみなさんと一緒にAED講習や、避難所資材の見学、放水訓練の様子など、会場内を見てまわりました。

意見交換では「新聞紙を燃やしてご飯が炊ける釜を初めて知った」「今回の防災訓練が一番よかった」、耳が不自由な方からは「サイレンや放送が聞こえないので普段から近所の人との関わりが大事だと思う」など、避難することの難しさや避難生活の課題についても聞くことができました。



平成淡路看護専門学校 ボランティア部

令和4年4月に創部された平成淡路看護専門学校ボランティア部は、学校唯一の部活動で、現在は24名が所属し、学校祭での募金活動や地域のイベントでのお手伝いなど幅広い活動を行っています。また看護専門学校の特性を活かし、防災訓練の救護訓練にも参加しています。

部員のみなさんは活動に参加することで、「子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方に接することや、コミュニケーションの取り方などを学ぶことができた」「子ども食堂に参加した時に、子どもたちから『次も来てくれる?』と言われたときにやりがいを感じた」など、多くの学びや体験を重ねることができたと話します。

また、担当の宮崎先生は、「学生が楽しくボランティアをすることで、学校と地域がつながる架け橋になってくれている。学生たちが主体的に活動し、成長する取り組みを学校としても応援していきたい」と目を細めていらっしゃいました。今後も地域と積極的につながり、ささいなことでもボランティア活動として地域の方に声をかけてもらえるようボランティア部を目指していきたいとのことです。



学生たちがボランティア活動に参加することで、多くの学びや気づきがあり、成長へつながっていきます。そして、なにより学生たちが「楽しく」活動している姿は、地域をより元気にしてくれます。「うちでもぜひ活動してほしい」というところがあればボランティアセンターへお声掛けくださいね。

あなたのおすすめの本は? ●私は、主人から勧められたのが『湊かなえ著 母性』(50代・女性)
抜粋して一部紹介します。

あなたのおすすめの本は? ●以前読んで、今まで人に勧めたい本です。今も手元に置いてあります。
『渡辺和子著 置かれた場所で咲きなさい』(80代・女性)
抜粋して一部紹介します。

